

差動トランス式ローラ型傾斜計 INB-RMシリーズ



本器は、土木建築工事での山留や地盤の変形、隣接構造物の傾斜計測において、地中連続壁、シートパイル、鋼管矢板、H鋼、コンクリート壁等に計測管を設置し、深度ごとの傾斜を測定して区間ごとの水平変位を算出することができます。

検出部には高精度な差動トランスを使用し、絶縁低下による影響も受けにくいいため、長期にわたり安定した測定ができます。

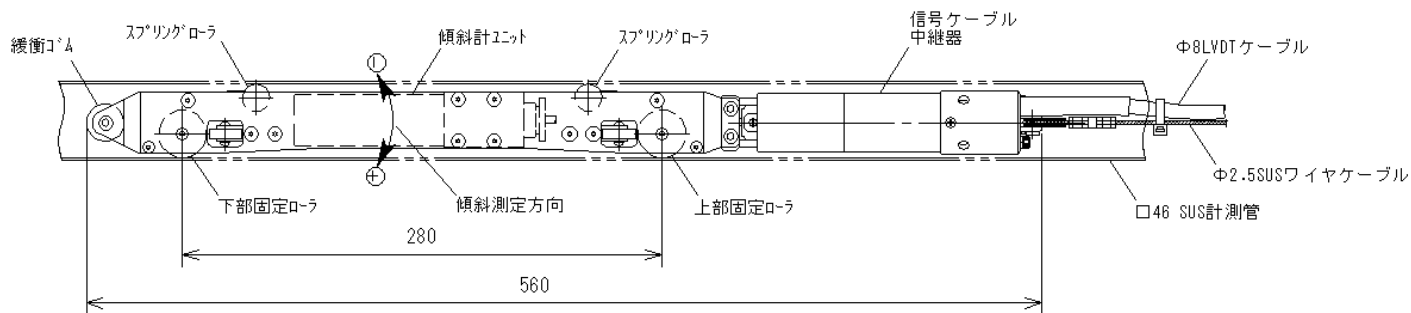
【特長】

- ・差動トランス式ならではの特長により、高品質の測定が可能です。
- ・小型高精度の当社独自の差動トランスを採用しています。
- ・絶縁低下の影響を受けにくい構造となっています。
- ・機械的磨耗部がなく長期的、電氣的に安定度の高いセンサ設計となっています。
- ・小型軽量で現場での取り扱いも容易です。1MPaの耐水圧構造となっています
- ・主要部材はステンレス鋼を使用し、高い耐蝕性を有しています。
- ・点検・保守の継続により長年に渡りご使用いただけます。
- ・小型化により、 $\square 46$ の計測管（ボーリング径も小径）で測定可能です。

【仕様】

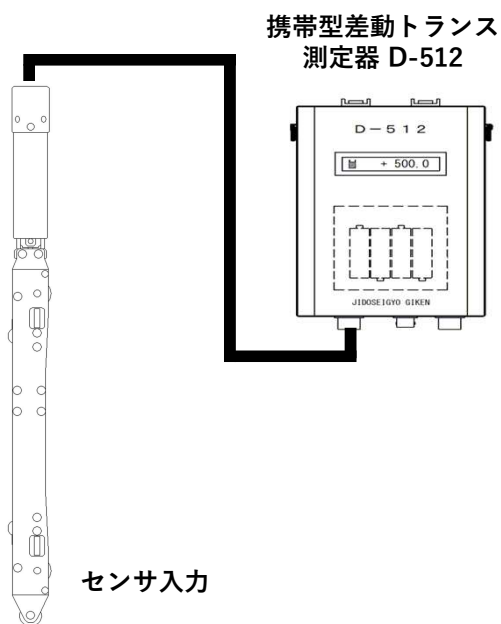
項目	仕様	
型式	INB-150RM	INB-300RM
容量	± 2.5 度	± 5 度
分解能	1.8秒	3.6秒
直線性	0.8%FS以下	
使用温度範囲	-60 \sim +80 $^{\circ}$ C（但し凍結なきこと）	
温度ドリフト	± 2.5 秒/ $^{\circ}$ C以下	± 7.2 秒/ $^{\circ}$ C以下
温度感度変化（FSに対し）	0.01%/ $^{\circ}$ C以下	0.05%/ $^{\circ}$ C以下
付属ケーブル	内部シールド付フレキシブルビニールケーブル(VC-03-2-2- $\phi 8$)	
外装	ステンレス, 黄銅	
重量	約2.2kg（ケーブルを除く）	

【外観図】

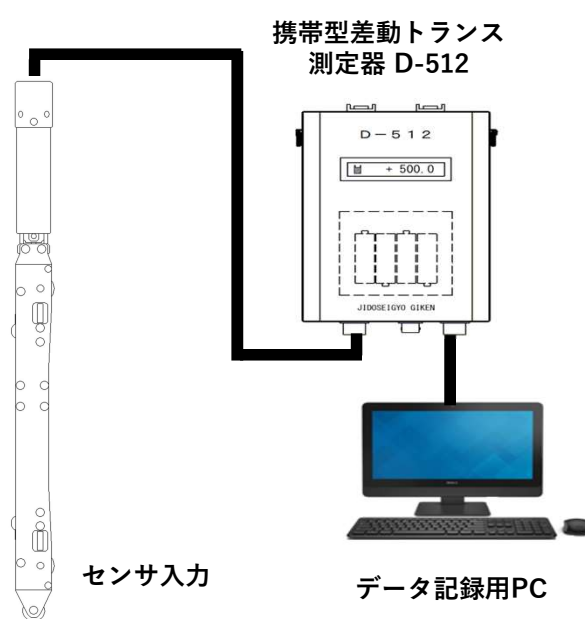


【測定ブロック図】

◆単独接続の場合



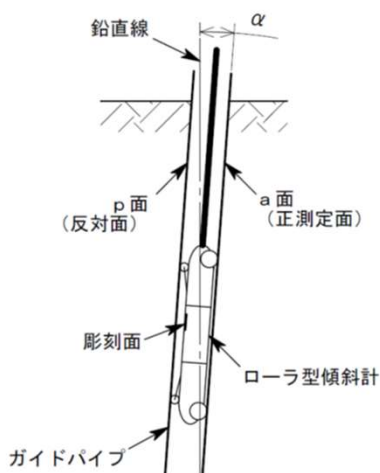
◆オンライン接続の場合




【測定風景】



【計測方法】



計測管は□45の角パイプを使用しますが、180°反転させて対向する2面を測定して鉛直からの傾斜角を算出する方法により、傾斜計の原点ドリフトがキャンセルされ、より高精度な計測が可能となります。

 株式会社 自動制御技術研究所

<http://www.jsg.co.jp/>

●本社所在地 〒143-0015 東京都大田区大森西5丁目29番19号

TEL 03-6450-0411

FAX 03-6450-0416

E-mail info@jsg.co.jp

掲載内容は予告なく変更することがあります。
掲載内容は令和4年7月現在のものです。